

東洋大学文学研究科インド哲学仏教学専攻  
平成 28 年度秋学期 院生研究発表会プログラム

日時:2016 年 11 月 30 日(水)14 時 00 分～18 時 05 分

場所:東洋大学白山キャンパス 5 号館 4 階 5404 教室

14:00～14:05 開会の辞:専攻長 橋本 泰元先生

**第一部 院生研究発表**

14:05～14:30 梅田 愛子 (M2)  
「維摩経のパラドックス」

14:30～14:55 塚越 悠貴 (M2)  
「説一切有部における波羅蜜の研究」

14:55～15:05 休憩

**第二部 講演**

15:05～16:05 講師 本庄 良文先生 (佛教大学佛教学部教授)  
題目 「大乘経典はなぜ「仏説」として出現したのか」

16:05～16:15 休憩

**第三部 院生研究発表**

16:15～16:40 通然 (M2)  
「『観心論』の成立について」

16:40～17:05 鈴木 伸幸 (D1)  
「Śikṣāsamuccaya における Ratnolkādhāraṇī の引用について」

17:05～17:30 三澤 博枝 (D3)  
「インド美術に見るラサの表現—ウダイプル市州立博物館所蔵『ギータ・ゴーヴィンダ』  
絵画付き写本を中心に—」

17:30～17:55 相川 愛美  
報告:デリー大学社会科学部歴史学科学位(Ph.D.)論文について

17:55～18:05 講評、閉会の辞:伊吹 敦先生